

「第3期大分市公共施設等総合管理計画（案）」の市民意見公募に寄せられた意見等の要旨とそれに対する本市の考え方

令和6年12月13日から令和7年1月14日までの間、「第3期大分市公共施設等総合管理計画（案）」について、市民の皆様からいただきましたご意見の要旨とそれに対する本市の考え方を取りまとめましたので公表します。

皆様からいただきましたご意見につきましては、今後、第3期大分市公共施設等総合管理計画の検討及び取組を推進する際の参考とさせていただきます。

1. 意見募集期間（※意見募集期間は終了しております）

令和6年12月13日（金）から令和7年1月14日（火）

2. 意見提出者数

4人

3. 意見の件数

8件

4. 実施結果の公表

提出していただいたご意見の要旨とそれに対する本市の考え方

5. 意見の一覧

番号	意見要旨
計画の考え方に関すること	
1	公共施設の整備には、長期的な視点で見通しと計画を立てることが重要
2	必要不可欠な施設の管理に特化し、できるだけ費用をかけない計画を望む
施設の整備に関すること	
3	排出ごみ量削減を行うことで、処理に係る費用やCO2の削減が期待できる
4	若い世代に新しい施設を供給するための対策を考えることが重要
5	利用状況を踏まえ、施設再編を推進
6	公共施設のあり方を中長期的な視点で考えることは、行政経営の観点から重要
7	複合化により、利便性の向上や維持管理の効率化等が期待できる
その他	
8	公共施設利用料は受益者負担の考え方から増額すべき

6. 意見の要旨と本市の考え方

計画の考え方に関すること		
番号	意見の要旨	本市の考え方
1	公共施設を整備した場合、維持管理経費など長期的に費用が発生する施設であるため、しっかりとした見通しと計画を立てることが重要。	限られた財源の中で将来にわたって適切な維持管理ができるよう本計画に基づき、中長期的な視点で計画的に施設の保全に取り組んでまいります。
2	令和5年度の市民意識調査結果を踏まえると、多くの市民が公共施設を利用していないと考えられるため、教育や子育て、防災など、必要不可欠な施設の管理を行い、できるだけ費用をかけない計画として取り組んでいただきたい。	費用の圧縮にあたっては、長寿命化対策を基本とした取り組みを進めてまいります。また、利用状況や建物の劣化状況等を踏まえる中、PDCAサイクルを確実に実施してまいります。 また、今後も定期的な点検等により、劣化の有無やその兆候を把握しながら適切な対処を行うことで、故障・不具合、事故等を未然に防止する対策を講じるとともに、中長期的な視点に立った計画的な保全を推進してまいります。
施設の整備に関すること		
番号	意見の要旨	本市の考え方
3	生ごみを各家庭でコンポスト等により堆肥化を図ることで、排出ごみ量の削減に寄与し、廃棄物処理施設の処理費用やCO2排出量の削減につながるのではないかと。	本市では、コンポストやボカシ容器の貸与、段ボールコンポストの支給等を実施し、家庭から排出される生ごみの減量・リサイクルに取り組んでいただいております。引き続き各種取組を行うことで、ごみの減量、ひいては、廃棄物処理施設の処理費用やCO2排出量の削減に努めてまいります。
4	多額の費用が必要となる新規の施設整備を原則行わない方針は理解できるが、世代によって新しい施設が何もないのは、世代間の公平性の観点からもよろしくないと考える。市民も「今の施設を残したまま」などではなく、若い世代にも新しいものを供給するためにどうすればいいかを考えることが重要。	本計画案にて、原則として、公共建築物の新規整備は行わないこととし、整備する場合は、同程度の施設の廃止や集約化、または、効率的な維持管理等の費用増加対策を講じた上で整備することとしております。 公共施設の集約化や廃止などの施設再編には、市民の方々の理解が必要不可欠となりますので、市民と協働で取り組みを進めるため、適宜、情報発信に努めるとともに、まちづくり出張教室など機会をとらえ意見交換を行ってまいります。

5	年間で 100 億円近く費用が増加する見込みであるため、機能が重複している施設などについては、利用状況を踏まえて、施設再編をすべき。	費用の圧縮にあたっては、長寿命化対策を基本とした取り組みを進めてまいります。また、利用状況や建物の劣化状況等を踏まえる中、PDCA サイクルを確実に実施してまいります。
6	人口減少が進む中で公共施設のあり方を中長期的な視点で考えることは、行政経営において重要性が増していると考え	これまでも施設の長寿命化や集約化等の対策に取り組んでまいりました。引き続き、本計画に基づき中長期的な公共施設マネジメントを推進してまいります。
7	1 つの施設で複数の機能を持たせることで、利用者の利便性を高めるとともに、維持管理の効率も向上する。さらに、地域のコミュニティの場として期待できると考える。	これまでも既存施設の統廃合や集約化・複合化等の取組を図ってきましたが、今後はさらに機能重視の施設整備を推進し、維持管理の効率化やまちづくりと連動したマネジメントの推進を図ります。
その他		
番号	意見の要旨	本市の考え方
8	公共施設の維持管理費については、受益者負担の考え方から使用料金を増額し、税金での補填は最低限とすべき。そうして浮いたお金を必要な施設に充てるべきだと思います。	公共建築物の利用にあたり、その対価として利用者から使用料等を徴収していますが、使用料だけでは全ての管理運営経費を賄うことができておりません。 利用者と未利用者との負担の公平性・公正性を確保するため、「大分市公共施設使用料算定基準」を今年度中に策定予定としており、本基準に基づき、適正な使用料金を設定してまいります。